

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 評議員会 議事録（要旨）

- 1 日 時 平成 30 年 12 月 11 日（火）午後 2 時から午後 3 時 35 分
- 2 会 場 横浜市健康福祉総合センター 8 階 大会議室 8 A B
- 3 出 席 評議員総数 31 名中 22 名出席
- 4 議 題
第 1 号議案 地域ケアプラザ等の職員確保・定着に向けた取組等に伴う諸規定の制定、一部改正及び廃止について
第 2 号議案 平成 30 年度収入支出予算の補正について

報告事項

- 1 中区社会福祉協議会における現金不明事故の発生及び再発防止策について
- 2 新設地域ケアプラザ指定管理申請への対応について
- 3 第 4 期横浜市地域福祉保健計画原案について
- 4 平成 30 年 7 月豪雨災害被災地派遣報告について
- 5 平成 30 年度指定都市社協・民児連絡協議会視察報告について
- 6 第 38 回横浜市社会福祉大会の報告について

5 議案の審議結果

第 1 号議案 地域ケアプラザ等の職員確保・定着に向けた取組等に伴う諸規定の制定、一部改正及び廃止について

事務局より、地域ケアプラザ等の職員確保・定着に向けた取組等に伴う諸規定の制定、一部改正及び廃止について、議案書に基づき説明。全員異議なく原案のとおり承認された。

第 2 号議案 平成 30 年度収入支出予算の補正について

事務局より、平成 30 年度収入支出予算の補正について、議案書に基づき説明。以下の質問があり、その後、全員異議なく原案のとおり承認された。

（評議員）生活困窮者支援にかかる、セブーンイレブン・ジャパンからの寄贈品ですが、具体的に何箇所の施設や区社協で活用されているのでしょうか。

（事務局）4 月から寄贈の受入れを開始し、11 月 12 日までに、1,500 箱の寄贈を受けています。お預かりしたものは、生活医療部会等を通して、市社協会員の皆様の中で必要とされるところに配分しています。また、区社協を通して、区域の子ども食堂等への配分や、生活福祉資金の相談に来られ「今日食べるものがない」という方にお渡しし、活用しています。

（評議員）区社協にも多くの物品をいただいております。置き場の確保や配分方法について検討

しています。物理的な問題も出てきますが、有効に利用させていただこうと考えています。

報告事項1 中区社会福祉協議会における現金不明事故の発生及び再発防止策について

事務局より、中区社会福祉協議会における現金不明事故の発生及び再発防止策について、議案書に基づき説明。以下の質問があった。

(評議員) 中区社協事務局長は、現金の紛失について、隠蔽しようとしたということでしょうか。また、ポケットマネーで補填したとのことでしょうか。補填した4万円は事務局長に返金し、紛失した4万円は未だに不明になっているということでしょうか。

(事務局) 小口現金紛失に対して、自身の所持金で補填したということですので、隠蔽を図ったということになるかと思えます。

経理処理に関しては、現在中区社協で検討しており、中区社協の理事会で報告がなされるとのことでした。

報告事項2 新設地域ケアプラザ指定管理申請への対応について

事務局より、平成30年11月30日開催の理事会にて決議された、新設地域ケアプラザ指定管理申請への対応について、議案書に基づき説明。以下の質問があった。

(評議員) 人材確保に関してですが、今国会で議論されている、外国人労働者への対応は、検討されているのでしょうか。

(事務局) 外国籍の非常勤職員は在籍していますが、新たに迎え入れることについてはまだ体制が十分整っていないという状況です。

(評議員) これから外国人労働者が増えていくことが予想されますよね。

(事務局) 今後は横浜市内でも増えていくことが予想されます。

報告事項3 第4期横浜市地域福祉保健計画原案について

事務局より、第4期横浜市地域福祉保健計画原案について、議案書に基づき説明。以下の質問・意見があった。

(評議員) 基本理念が少し浅いのではないのでしょうか。目指すべきは共生社会であって、そこを目指すということをはっきり記載するべきではないのでしょうか。

(事務局) 基本理念として「誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる「よこはま」をみんなで作ろう」と掲げ、横浜市と横浜市社協で、事務局の計画として策定しております。キーワードとしては、住民主体と協働ということになっています。さまざまな組織で協力し、計画を進めていこうと考えております。

(評議員) 目指すべきは共に生きる社会だと思います。一方で、優生保護の問題など、未解決のものもたくさんあります。社協のみでできることではないと思いますが、そういった問題を解決するという姿勢を持って取り組むべきだと思います。

(事務局) 計画の柱1-3として誰もがお互いを受け入れ共に支え合う意識の啓発と醸成を掲げ、目指す姿を定めています。例えば、中段にありますように、「個別課題、地域課題を他人事ではなく「わたしたちのまちにある課題」として捉え、地域住民と支援機関及び関係機関が一体となり課題解決のために行動することで、緩やかなつながりを形成するような地域づくりが進んでいます」また、「国籍、年齢、性別、障害など様々な立場や背景を超えて人々がお互いを認めあい、支えあえるような多様性への理解が地域の中で進んでいます。」といった形で、目指す姿を示しています。

また、議案書内の概要にもありますが、この計画の5つの特徴を

- (1) より身近な地域での基盤づくり、体制づくりの推進
- (2) 人材の確保・育成
- (3) 包括的な支援体制における早期発見・支える仕組みづくり
- (4) 多様な主体の連携・協働による地域づくりの推進
- (5) 成年後見制度利用促進基本計画との一体的策定及び生活困窮者自立支援方策の推進としています。かなり網羅的ではありますが、高齢者・障害者・子ども等、対象者別にあります市の計画を横串で刺す様な形になっています。ただ今ご意見をいただいた部分については、原案に記載されている様な形で取り組んでいきます。

報告事項4 平成30年7月豪雨災害被災地派遣報告について

事務局より、平成30年7月豪雨災害被災地派遣報告について、議案書に基づき説明。その後、高齢福祉部会より、活動の報告があった。

(評議員) 高齢福祉部会では、今までの災害においても、義援金による支援を行っております。今回も、7月11日から9月5日まで義援金の募集期間を設け、57の法人・施設から、5,528,838円の義援金が集まりました。部会としても様々な災害を想定し、予備費を計上しておりますので、471,162円を支出し、合計600万円を送りました。役員会で配分先を議論し、今回主に被災した、広島県・岡山県・愛媛県の高齢者施設の協議会に、10月2日・3日に部会長と社会福祉部長で訪問し、200万円ずつお渡ししました。

報告事項5 平成30年度指定都市社協・民児連絡協議会視察報告について

事務局より、平成30年10月29日・30日に開催された、平成30年度指定都市社協・民児連絡協議会の視察報告について、議案書に基づき説明。その後、視察に参加した評議員より報告があった。

(評議員) 2日間参加させていただきました。全体会は厚生労働省社会援護局の玉置地域福祉専門官から、「地域共生社会の実現に向けた地域福祉推進施策の現状と課題」と題名で、

地域共生社会の実現に向けての話がありました。

分科会では、各都市の取り組み状況等の報告があり、その中から横浜での取り組みのヒントを見つけようと参加していました。

岡山市はかなり都市化しており、駅のすぐ近くに会場となったコンベンションセンターがありました。また、岡山市の対応は、来年横浜市での開催に向けて、かなり参考になるものでした。最後には、大場会長から来年度の開催について挨拶がありました。来年度、本会議が横浜市で無事開催されるよう、万全を期していきたいところです。

報告事項7 第38回横浜市社会福祉大会の報告について

事務局より、平成30年11月13日に行われた第38回横浜市社会福祉大会の報告について、議案書に基づき説明。